

目 次

はじめに.....	<i>i</i>
第1章 環境教育はなぜ必要か.....	1
1. 環境教育の理念と歴史	2
2. 環境と環境観	7
3. 人間環境と教育	9
4. 環境問題の存在	15
5. 環境倫理	21
第2章 どのような環境教育が必要か.....	29
1. 自然を大切にする	30
2. 化学物質について考える	34
3. 環境負荷の低減を考える	40
4. 周囲の環境への影響を考える	48
5. 社会における環境対策を考える	52
6. 世界の中での日本の役割を考える	58
7. 地球と人間の関わりを考える	63
8. 地球の歴史から見た現在の環境問題	70
9. 文明史から考える	79
第3章 環境教育をどのように進めるか.....	89
1. 現状の問題点	90
2. 環境問題のプロセス	94
3. カリキュラムの作成	97

iv 目次

4. カリキュラムの実践	103
5. 総合学習で進める環境教育	109
6. 教科教育で進める環境教育（理科教育を事例として）	131
7. 身近な自然を生かす	138
8. 生活から環境を考える	148
9. 環境と環境問題を考えるための情報収集	154
第4章 環境教育の手法	159
1. 視聴覚教材とメディアの利用	160
2. 環境観察	164
3. 測定・観測・調査	171
4. 実験	186
5. ゲーム	191
6. 環境体験	194
7. 新聞記事の活用	199
おわりに	202
付録	203
付録1 実践事例	203
付録2 環境教育テーブル	206
索引	207
著者紹介	212
コラム	
生涯教育と環境教育	13
最も身近な環境問題	20
トキの保護はどのような意味があるのか	33
危険と安全を考える	38
環境リスクと環境教育	46
地球温暖化問題と想像力	49

オゾン層破壊を巡って	50
企業における環境対応と教育	57
消費行動と環境教育	67
極限の環境から環境問題を考える	75
大江戸の廃棄物と水	84
環境貢献と進路	87
海での総合学習 “赤潮”	113
小学校における環境教育の実践	119
森林から考える	145
携帯電話から環境問題を考える試み	151
蛍の光が映し出す外来種の陰	170
キッズ ISO プログラム	201